

議会だより

第68号

令和3年1月31日発行



主な内容

- 議長就任あいさつ……………P2
- 委員会構成……………P3
- 第97回臨時会の結果……………P5
- 第99回定例会の結果……………P6～10
- 一般質問……………P11～17
- 委員会レポート……………P18
- 1年間の調査報告……………P19

みなさまの心が和みますように
福良八幡神社（花水手）

南あわじ市議会
ホームページ



マチイロ



南あわじ市議会
YouTube



<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/>

新しい委員会の構成

◎=委員長、○=副委員長。名前は写真左上から掲載。

総務文教常任委員会



久米啓右 北村利夫 熊田司 土井巧 蛭子智彦 太田康文
長船議長 ◎小島一 ○原口育大 中村三千雄

【所管事務】

総務企画部、危機管理部、教育委員会、会計課、選挙管理委員会、監査委員の所管に関する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項

議会運営委員会



久米啓右 吉田良子 太田康文
長船議長 ◎谷口博文 ○土井巧 原口育大

【所管事務】

議会の運営、議会の会議規則、委員会に関する条例等、議長との諮問に関する事項

議会広報広聴常任委員会



久米啓右 吉田良子 谷口博文
長船議長 ◎北条志津子 ○太田康文 原口育大

【所管事務】

広報活動、広聴活動、議会広報誌、議会報告会に関する事項

産業厚生常任委員会



吉田良子 谷口博文 北条志津子 木場 徹 廣内孝次
長船議長 ◎阿部計一 ○印部久信 登里伸一

【所掌事務】

市民福祉部、産業建設部、農業委員会の所管に関する事項

市議会の新体制が決定

議長就任挨拶

市民ファーストの存在感のある議会を目指して



長船 吉博 議長

新型コロナウイルス感染症の第三波が猛威をふるっています。市民の皆様方の恐怖、いかばかりかと存じます。そんな中で昨年11月の議会の役員改選に於いて、議長に就任させていただきました。その重責に身の引き締まる思いであります。市民の皆様様に信頼され負託に応えられるよう誠心誠意頑張る所存であります。私の議会人としてのモット

ト「市民ファースト」を第一に考えて円滑な議会運営を行っていく所存であります。二元代表制の一翼を担う存在で議会と執行部は



吉田 良子 副議長

車の両輪と言われ、同じ方向に回らなければ前に進まないと言われますが、議会の役割は執行部の監視評価機能と共に政策形成機能の充実が求められています。そのために市内の各地区に出向き議会報告会を開催し、意見交換を行い市民と議会がより身近な関係になるよう、開かれた議会を目指していくことが強く求められます。結びになりますが、市民の皆様方には新型コロナウイルス感染症に十分ご注意をお願いすると共に、南あわじ市発展のため、より一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。議長就任の挨拶とさせていただきます。

第98回 臨時会
11月19日～11月24日

議決結果一覧 (全員賛成)

提出者	議案名	議決結果
市長	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	南あわじ市・洲本市小中学校組合議会議員の選任(原口育大議員)	同意
議会運営委員会	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決

議案審査で
こんな議論をしました

特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

本年度人事院勧告に準拠し、特別職の期末手当の支給割合の改正を行うもの。年間で、0.05月分引き下げる。

■主な質疑

問 特別職の給与は、南あわじ市特別職報酬等審議会で審議すべきものであるが、人事院勧告の内容を反映させるということか。

答 報酬審議会では、主に給料月額については審議していたが、その中で、期末手当については、

一般職の人事院勧告に準じた同等の措置を基にしていることを説明したうえで審議してもらっている。

■議決結果
賛成多数で原案可決。

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

本年度人事院勧告に準拠し、期末手当の支給割合の改正を行うもの。

■主な質疑

問 会計年度任用職員を正規職員と同じ支給率で引き下げるのは理解できない。

答 労使交渉を経た結果、期末手当について正規職員と同じ支給率としている。

正規職員の取り扱いとの均衡の観点から、同率で引き下げることにつきご理解願いたい。

問 職員組合は全く問題なく受け入れてくれているのか。

答 納得していただけていると思っている。

問 今回減額の対象となる一般職員、再任用職員の数、不要となる額はいくらか。

答 469人が対象。概ね800万円程度減額となる。

問 県の人事委員会の勧告を準用すべきではないか。

答 国と県の勧告は、基本的に大半は同じであると理解している。地元の経済状況をリサーチしていくことも必要だと考えており、研究していきたい。

問 人事評価は賞与に反映されているのか。

答 勤勉手当に反映させていくことになっている。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

られない。
■議決結果
賛成多数で原案可決。

一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

本年度人事院勧告に準拠し、期末手当の支給割合の改正を行うもの。

■主な質疑

問 現在任期付職員は何名いるのか。

答 特定任期付職員が1名。任期付職員は人数制限をしているのか。その都度採用していくのか。

答 事業の必要に応じて専門知識を有する職員につき期間を限定して採用している。

問 職員も技術を習得できるような体制をつくるのが大事ではないのか。

答 人材育成については常に課題になっている。検討していきたい。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

人事院勧告に準拠し、期末手当を引き下げようとする一般職及び特別職と同様議員についても期末手当の引き下げを行う。年間で0.05月分引き下げる。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

兵庫県功労者表彰

永年地方自治の発展と振興に貢献された議員が表彰されました。



吉田良子議員

自治功労賞

一部事務組合などの議会報告

令和2年11月～12月

淡路広域行政事務組合

▼第4回臨時会(11月30日) 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を可決。

淡路広域消防事務組合

▼第4回臨時会(11月30日) 職員の特殊勤務手当に関する条例改正、職員の給与に関する条例改正を可決。

淡路広域水道企業団

▼第4回臨時会(11月30日) 損害賠償の決定についてを可決。職員の給与に関する条例改正を可決。副議長に吉田良子議員を選出。

南あわじ市・洲本市 小中学校組合

▼第4回定例会(11月9日) 令和2年度一般会計補正予算専決処分(400万円の追加)並びに補正予算追加(87万7千円の追加)及び令和元年度一般会計決算の認定の審査を行い原案可決。

洲本市・南あわじ市 衛生事務組合

▼第2回定例会(12月24日) 令和元年度一般会計決算の認定、職員の期末手当の改正などを可決。議長に片岡格議員(洲本市)、副議長に谷口博文議員を選出。吉田良子議員は、鳥インフルエンザによる焼却処分などについて一般質問を行った。

第97回 臨時会
10月23日～10月28日

議決結果一覧

議長は表決に加わらない。
(○は賛成、×は反対、-は欠席)

提出者	議案名	議決結果	各議員の賛否															
			中村三千雄	阿部計一	登里伸一	北村利夫	印部久信	長船吉博	吉田良子	廣内孝次	木場徹	小島一	久米啓右	北条志津子	谷口博文	土井巧	原口育大	蛭子智彦
市長	松帆流域江尻排水ポンプ場機械・電気・土木工事請負変更契約の締結について	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	×	○	○

松帆流域江尻排水ポンプ場機械・電気・土木工事請負変更契約の締結

■議案内容

擁壁工・床板工の追加及びフラップゲート施工に伴う仮設の内容変更などを行うもの。

■主な質疑

問 このポンプ場は、いつから稼働するのか。

答 本格的に稼働できるのは、1月以降になる。

■討論

反対 原口 育大 議員

■討論要旨

本案は、工事が既に完了しており事後承認を求めるものである。追加工事は、議会の承認を得てから施工すべきであり、議会の議決権を無視した本案に賛成することは、議会の存在意義を否定するものとなり認め

議案審査で
こんな議論をしました

■議案内容
本年度人事院勧告に準拠し、特別職の期末手当の支給割合の改正を行うもの。年間で、0.05月分引き下げる。

■主な質疑
問 特別職の給与は、南あわじ市特別職報酬等審議会

議案審査で
こんな議論をしました

市民税6600万円の減額など

令和2年度一般会計補正予算(第8号)

■議案内容

歳入歳出にそれぞれ2億6885万6千円を追加。

■主な質疑

歳入

▼鳥獣被害防止総合
対策事業補助金
1472万9千円
の減額

問 減額となった理由は。

答 例年、この時期に、本事業に対して90%程度の内示があるが、今年度は60%程度しかなかったため減額補正をした。減額分は、県や市の事業で代替する。

歳出

▼認定こども園費一般
職給料3542万
5千円の増額

問 一般職給料の増額の理由は。

答 市認定こども園の完成により、職員が異動したため、認定こども園費で増額となり、保育所費が減額になった。

▼保育所費会計年度
任用職員報酬
1508万5千円
の減額

問 会計年度任用職員の報酬が減額になっている理由は。

答 当初想定していたより長時間勤務ができない人が多く、減額になった。また、当初見込んでいた号給よりも、低い号給の適用になったことも要因の1つである。

▼防犯カメラ設置補助金
55万8千円の増額

問 カメラの設置台数は、何台増えるのか。累計は。

答 合計22台の要望があり、今回7台増やすことになる。累計は75台になる。



▲設置された防犯カメラ

▼介護保険運営費繰出金
1231万7千円
の増額

問 増額になった理由は。

答 職員の1名増員と、令和3年度に向けたシステム改修が主なもの。

▼情報端末運用管理等
業務委託料
910万円の増額

問 これはどんな費用か。

答 国が進めているGIGAスクール事業で、コロナ禍などもあり予定を前倒しして小中学生全員にタブレットを導入するもので、導入時の保守経費などである。4年生以上については1月から、3年生以下の児童については、4月から運用を開始する予定。

■議決結果
賛成多数で原案可決。

温水プール条例
の一部を改正する
条例制定

■議案内容

労務費、光熱水費その他の施設管理コストが増加していることから、ゆとりなく及びサンプールの使用料を改正するもの。

■主な質疑

問 今回の値上げは、委託業者からの要望か、市の考えか。

答 消費税が上がった時に値上げしておらず、業者が負担していたことと、光熱水費などの経費がかさんできたことから委託業者の要望もあり、値上げすることになった。

■議決結果
賛成多数で原案可決。

継続費5000万円の増額

令和2年度一般会計補正予算(第9号)

■議案内容

下水放流施設建設事業の総額11億1200万円に5000万円を追加し、事業年度を令和4年度まで延長することに伴う年割額の変更。

■主な質疑

問 11月の入札が不落になった原因は。また、業者を入札替えて再入札する手順が本来の手順では。

答 プラント機器の市場の単価が前回設計した時点と入札時点での変動がかなりあった。業者を入れ替える方法も当然あるが、今回は業者数が少ないため設計を変更して再入札することにした。

問 公募要件で地元業者が入札に参加できない工法だったが、どのような考えか。

答 本工事は、清掃施設工事となる。JVを組む方法

いては、市の方も関与して適正であると認めているので、今回の不落については責任がない。成果として適切であると判断したので支払いはしている。

●入札して工事を承認している段階でこの補正予算を認めないということに関しては、議会の責任は果たせないと思う。

■討論

反対 原口 育大 議員

■討論要旨

日量38m³のし尿および浄化槽汚泥を処理するために、約12億円の予算を計上し、分離した汚泥を乾燥して焼却場の助燃材として活用する施設を整備しようと計画しているが、費用対効果の観点からこの施設整備は妥当か。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



委員間討議

●再入札については、コンサルタントの責任が極めて大きいと思う。

既存の施設を活かしてやればもっと安くできるのではないかと疑問を持った。市民の税金を使う以上、無駄のないように使わないといけないと思う。

手数料条例の
一部を改正する
条例制定

■議案内容

審査請求を行った際の写しの交付に係る手数料を定めるため、改正を行うもの。

■主な質疑

問 行政不服審査の審査請求は年間何件あるのか。

答 現在のところ審査請求はない。資料等の写しについても、今はゼロ件である。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

■議案内容
保険事業勘定の歳入歳出それぞれ、6656万6千円を追加し、直営診療所勘定の歳入歳出それぞれ81万1千円を追加。

■主な質疑
問 財政調整基金の積立金の残高は。
答 今回の補正分を加えると1億8749万3千円になる。

問 基金に積み立てているがその分を翌年度に繰り越すことも可能ではないのか。
答 本市においては、いったん全額を積み立て、必要ときに取り崩している。

問 診療所勘定の施設整備費繰入金が減額になっているが、その内訳は。
答 阿那賀診療所の移転改

■議案内容
保険事業勘定の歳入歳出それぞれ、1億6413万7千円を追加し、介護サービス勘定の歳入歳出それぞれ248万8千円を減額。

令和2年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

■議案内容
修工事費で、特別調整交付金を見込んでいたが、交付の対象外となったため、繰入金を減額した。
問 新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金とは。
答 県から支給される慰労金で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた医療機関従事者に一人当たり5万円が支給される。今回、市の診療所に従事する11名に支給する。

■議決結果
賛成多数で原案可決。

■議案内容
介護サービスを利用しない人にとっては介護保険料を納めるだけとの不満もあるがどう考えているのか。
答 介護保険料は、いきいき百歳体操などの介護予防事業にも使われており、介護サービスだけに使われているのではない。
■議決結果
賛成多数で原案可決。

令和2年度下水道事業会計補正予算(第1号)

■議案内容
人事異動に伴う人件費の調整並びに人事院勧告による期末手当支給率の改定に伴う人件費の減額など。

■主な質疑
問 一般会計から13億2990万円の補助金を繰り入れているが、今後も毎年必要なのか。
答 一般会計補助金の削減のため平準化債の借り入れを行っているが、企業債の償還等があり、繰り入れは今後も続いていく。

問 下水道料金を倍にしない、プライマリーバランスがとれないのではないのか。
答 維持管理費については、現在処理場の統廃合整備を行っているっており、整備できると年間7400万円の削減効果を見込んでいる。また、使用料については、加入促進で使用料収入を上げてい



▲浄化センター

きたい。
問 下水道整備計画を変更した地区で地元説明会を行ったが、住民の理解を得ていると考えているのか。また、今後説明会の予定は。
答 説明会で出た質問の回答を作成しており、2回目の説明会を1月頃に開催できると協賛している。
■議決結果
賛成多数で原案可決。

令和2年度産業廃棄物最終処分事業特別会計補正予算(第1号)

■議案内容
歳入歳出それぞれ1086万8千円を追加。

■主な質疑
問 産業廃棄物最終処分場基金積立金の目的は。
答 産業廃棄物最終処分場の運営、整備及び関連事業の資金に充てるための基金である。

問 現在の状況で最終処分場を埋め立てていった場合、何年後に満杯になるのか。
答 令和元年の実績でいくと、あと3年弱で満杯になる。

問 産業廃棄物最終処分場は、新しく市内で建設すべきだということで検討が進んでいるのか。
答 産業振興の面から市内にある方が有利であると考えるが、現在検討している

■議案内容
高潮等の対策のために実施する掘岸川護岸整備工事の請負契約を締結するもの。
■議案内容
高潮等の対策のために実施する掘岸川護岸整備工事の請負契約を締結するもの。

介護保険条例の一部を改正する条例制定

■議案内容
租税特別措置法及び地方税法の改正に伴い、法律と同様の改正を行うもの。

■主な質疑
問 低未利用土地等に係る改正の内容は。
答 取引額が500万円以下の土地等を譲渡した場合、長期所得、譲渡所得から100万円を控除するもの。

問 普通徴収の延滞金に係る改正の内容は。
答 地方税法の改正に伴い、延滞金にかかる用語である「特例基準割合」を「延滞金特例基準割合」に改正するとともに、その計算の前提となる割合を新たに「平均貸付割合」と定めるもの。

■議決結果
賛成多数で原案可決。



▲産業廃棄物最終処分場(伊加利)

もの、そこまでの確定した案はない。
問 条件が整わない一番高いハードルは何か。
答 いろいろあるが、一番は受け入れ場所がないということである。
■議決結果
賛成多数で原案可決。

人事案件 [敬称略]
■洲本市・南あわじ市山林事務組合 議会議員の選任
同意 山崎 元和 (広田)
任期 令和2年11月27日～令和3年11月10日

普通河川 掘岸川護岸整備工事(第1期) 請負契約の締結

■議案内容
高潮等の対策のために実施する掘岸川護岸整備工事の請負契約を締結するもの。

■主な質疑
問 本工事の第2期工事はあるのか。
答 令和3年度、第2期工事を予定している。

問 この工事の目的は。
答 高潮対策として実施するものである。

問 今回の工事は、高潮対策として三原川下流の低地帯の住宅地を守るような工事になっているのか。
答 三原川下流の高潮対策は護岸高2.85mで整備されているが、掘岸川の護岸については、護岸高が足りていないため、本工事にて解消する。

問 低入札価格制度に該当した案件であるが、どのような



▲掘岸川護岸(松帆)

に工事の品質を担保するのか。
答 専門的技術に対してノウハウがある兵庫県まちづくり技術センターへ施工監理を依頼する予定である。
問 調査基準価格より100万円弱低い額で落札された案件であるが、どのような内容で適正と判断したのか。
答 応札者から提出された調査に必要な書類をもとに、資材の調達方法や、労務の状況などを確認し、今回は、応札者が施工する重機を自社所有している部分があるなど、経費節減につながるような理由があったため、適正と判断した。
■議決結果
賛成多数で原案可決。

市政を問う ～より良い南あわじへ～

スマートフォン等で各議員のQRコードを読み取ると、一般質問の録画映像をご覧ください。

Table with 4 columns: 議員名, 質問内容, ページ, 議員名, 質問内容, ページ. Lists questions from 蛭子 智彦 to 久米 啓右.

()書きの質問については、掲載していませんが、録画映像でご覧いただけます。

「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」の各施設で、屋根・壁・床の資材に淡路瓦の使用、推奨を求める. Includes 請願書 and 意見書 sections.



第99回 定例会 11月27日～12月16日

議決結果一覧

Table of 議決結果一覧. Columns: 提出者, 議案名, 議決結果. Lists various budget and ordinance items.

議長は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対)

Table of 賛否の分かれた議案. Columns: 提出者, 議案名, 議決結果, 各議員の賛否 (listing individual council members).

高年齢者等元気活躍推進事業を大幅に見直すべき. Includes 日本共産党南あわじ市議員 蛭子 智彦 議員 and 密解消のためにも今こそ少人数学級を. Includes QR code and illustration of a classroom.

第99回 定例会

一般質問

ゆづるはクラブ

太田 康文 議員



「学ぶ楽しさ日本一」とは

「答えられる教育」から「自分で考え判断・学びを進める教育」への転換

き検討していきたい。新火葬場「桜花の郷」の建設スケジュール、周辺地域との話し合いは。

者に業務委託しており、施設環境の改善ができています。これを受け、将来的には指定管理も視野に入

その要素。これは新学習指導要領の具体化にも繋がる。またコアカリキュラムは非認知能力に評価基準を定めやっています

淡路三原高等学校等の学生定期券の導入に向けた検討状況は

楽しさの実感がその要素。これは新学習指導要領の具体化にも繋がる。またコアカリキュラムは非認知能力に評価基準を定めやっています

生徒向けアンケート調査を実施。1月に地域公共交通会議で提案・手続を進める。

公共施設の利用

南あわじ市は無料Wi-Fi環境が少なく鳴門市では、14の公共施設で環境がある。

陸の港西淡「りくみな公園」の安全柵対策は。

防護柵設置の要望を頂いており、今年度末には設置完了予定。

今後に向け陸の港西淡では試験的に設置しており引き続き

南淡B&G海洋センター艇庫の民間運営への検討は。

今年度は民間業者に業務委託しており、施設環境の改善ができています。



生活様式・デジタル化に併せて変化を求められる公共サービス

日本共産党南あわじ市議団

吉田 良子 議員



新型コロナウイルスから

くらしと健康を守る施策を

市内の経済状況

するのではなく再度のプレミアム商品券の発行を求めた。

各種信用保証の融資が915件で卸売、小売業が多い。

介護職員、ホームヘルパーなどへの定期的なPCR検査への助成はどうか。

個人、法人市民税ともに厳しい状況

県の支援策もある。事業所と意見交換していきたい。

新年度、市民サービスを後退しないためにも国が示す財源確保について。

保育士、学童保育指導員への慰労金の支給は。

市独自の3億円の事業持続支援金の利用状況は。

考えていない。環境整備に努めた

個人5万円、法人10万円の支援金だが、現在は19件、10万円の支給。

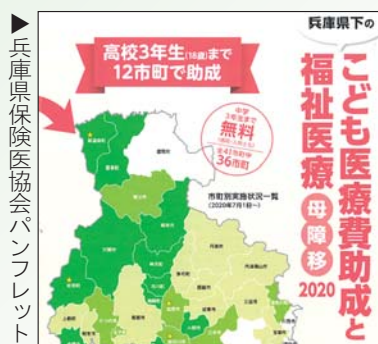
高校生までは県下で12市町が実施

予算を不用額とする

高校生まで医療費助成の拡大を

市独自の3億円の事業持続支援金の利用状況は。

高校生まで医療費助成の拡大を



兵庫県保険医協会パンフレット

誠道クラブ

谷口 博文 議員



移住・定住政策の大幅強化について

移住・定住政策を大幅に強化していくとのことだが、どのように強化するか。また、過去の実績は。

空き家対策について、危険空き家の実数は。

三原川河川改修事業を県にスピーディーにやっていた

今年度のマイホーム取得補助事業は13件決定。補助金額は、2530万円で、転入者数は36名。ここ4年間で本事業により移住して来た方は444名になります。

市営住宅の耐震診断は。

市として政策的なものを取りまとめたい。

テレワークを利用して2地域居住など相談業務が増えてきており、一元化してしっかりと実績

メガフロート在り方検討会にて存続の方針が示されてお

メガフロート



メガフロート

南あわじ市公明党

熊田 司 議員



コロナワクチン接種体制の早急な整備を

臨時国会における予防接種法と検疫法の改正の過程で、厚労省より事務連絡が発出されているが、その内容は。

本市における予算の確保はできているのか。

3点ある。1点目が、国は新型コロナウイルスワクチン接種事業実施のために、169億9977万円を確保したこと。2点目は接種を可能な限り、迅速かつ的確に実施する観点から、地方自治体は実施組織の立ち上げの準備、また、既存予算を活用したシステム改修や印刷・郵送の準備を検討すること。3点目は申請者と自治体の事務

国や県から発出される情報を注視しながら時期や予算規模を十分考慮した上で、適切な措置を講じていきたい。

どのようない体制をいつまでにする考えでいるのか。

今後、医師会と共にワクチンの種類、確保数、接種対象者



新型コロナウイルスワクチン (イメージ)

創世クラブ

久米 啓右 議員



南あわじ市のコロナ感染状況

現時点での南あわじ市管内で63名のコロナ感染者とな...



コロナの商工観光への影響

商工観光分野でのGOTOによる影響で収益が上がったか。市内でも観光客が増えている...

市内でも観光客が増えている。観光協会を含めた調査でホテル関係の客も増えている...

市民連合クラブ

土井 巧 議員



新型コロナウイルス感染症対策は

感染状況をどう捉えているか。最高警戒レベルの感染拡大特別期...

追加支援措置では機械や資材、肥料や農薬も含めて幅広くカバーして...



▲食物アレルギー対応除去食

学校・保育所等の給食アレルギー対応は

給食センターでは卵・乳製品・エビ・カニ・イカ・ゴマの6品目に対応している...

人形浄瑠璃振興策について

創世クラブ

木場 徹 議員



平成16年4月覚書で、座員の身分と給与面は地方公務員に準じ、必要な措置を講じなければなら...

市内類似施設への情報提供は。市独自で情報共有体制を構築し、訪問介護事業所への防護服の配布を行った...

新型コロナウイルス対策

転籍した時は守られていたが、その後、収益が芳しくないと解釈している。団員の給与面を改善する必要があるのでは。現在のような苦しい時でも生活して行ける様補助金を出してきた。手当をして行く事も必要であるが、目指すところは自立の方向である。職員待遇改善の支援をお願いしたい。出来ない場合は公務員に戻す方策もあるが、淡路2市からの補助金増額をお願い出来るのでは。運営基金への負担金増額の考え無し。

規感染者はでない。市内類似施設への情報提供は。市独自で情報共有体制を構築し、訪問介護事業所への防護服の配布を行った。今回感染症で亡くなられた方への弔慰金制度の創設について。現行の弔慰金のルールに従ってやる。その他空き家対策について質問した。



マイナンバーカードと健康保険証の一体化について

翠クラブ

小島 一 議員



国保以外の組合健保などの保険との一体化の関係は。全ての保険が、令和3年3月から一体化の対象。

認め印の廃止について

認め印の廃止について、通達等きているか。本年7月に県を通じて、総務省より技術的な助言と通知があった。12月中には、押印の廃止に向けた本市の方針をあらかた決定していきたい。

アフタースクール事業と学童保育について

八木小学校での実績は。11月現在で、学童保育が27人、アフタースクール事業が20人の計47人。体験学習への参加を通じて、児童の成長が見て取れている。それぞれの目的が違う2つの事業を、今後どの様にしていくのか。学童保育とアフタースクール事業が包括して一体的に実施するものであるが、補助金の関係もある。放課後子供教室も残しながら運営していく。



セキュリティのな面は大丈夫か。カード自体には情報が記録されていない。仮に不正に情報を読み出そうとすれば、ICチップが壊れる仕組みになっ

ゆづるはクラブ

原口 育大 議員



松帆・湊地区下水道整備計画の見直し

問 必要性について説明を。

答 人口減少や厳しい財政状況の中で、国より汚水処理に関する新しい方針が打ち出され、原則10年で汚水処理施設の整備を完成させることが通知された。これを踏まえ令和7年度を目途とする汚水処理施設の整備計画を策定した。未整備区域の見直しと、生活排水処理施設の再編・統廃合等を行っていく。

下水放流施設建設工事

問 入札が不落になったが、今後の予定は。

答 設計変更を行い、再度、公募型一般競争入札を行いたい。市内業者とのJVを可能にするとか、建物とプラントを分離して発注するとか



▲下水放流施設完成予想図

考え直してはどうか。答 気持ちには分かるが、設計の見直しをして、直ちに入札をしたい。

バイオマス利活用施設

問 廃液が下水放流基準を上回っていたが、現状は。

答 施設改善命令が出されており、令和3年2月末までの改善が求められている。

ゆづるはクラブ

北条志津子 議員



快適なくらしの安全対策と活気あるまちづくりを

問 オニオン道路の未開通区間、八木工区の用地取得状況と交通安全対策は。

答 10月28日用地契約。11月5日登記完了。来年度の工事だが早期着手を要望。安全対策は関係機関と協議している。問 ローソン八木前西川東詰交差点の信号機設置と安全対策は。

答 公安委員会等、南あわじ警察署と建設課、危機管理部関係機関と協働し強く要望する。

問 市営住宅の現状と今後と修繕費は。答 市営住宅は48団地、戸数は755戸。

問 公民館の休日開放



▲来年度に工事着手するオニオン道路（未開通の八木工区）

はできないか。答 地域の方々が集える場所。各地域で創出し地域づくりの中で進めてほしい。問 地域歴史資産活用の支援は。答 地域づくり事業交付金を交付している。問 求められるまちづくりとは。答 地域の資源を活かした観光は非常に重要な産業であり、強みである食材の活用につながることを進めたい。

市民連合クラブ

印部 久信 議員



コロナ禍での税の特例、経済対策について

問 インフルエンザの感染者が少ないとの事。市の状況は。

答 11月29日まで県内3人。島内感染者なし。問 コロナ禍における税の特例。

答 国保税の減免、全般的な市税に対する徴収猶予。令和3年度から固定資産税の減免。問 国保での減免対象は。

答 コロナ感染により死亡、重篤な傷病、収入が前年より3/10以上減少した場合。問 市税の猶予について。答 個人市民税、法人市民税、固定資産

税は事業収入が20%以上減少した場合。問 市の経済対策予算は。

答 財政調整基金の取り崩し。3億8500万円。地方創生臨時交付金一次二次9億8900万円。問 国よりの特別定額給付金一人当たり10万円。事務処理が早く4万6698人が受給された。

問 水道基本料金3ヶ月分の状況は。

答 対象件数6万2406件。減免額8088万円。市の負担額3521万円。問 ジモ得市民50%市40%。市の当初予算1億2800万円



2月の委員会等日程

Table with 2 columns: 委員会, 日時・場所・内容. Lists various committees and their meeting schedules for February.

※議会広報広聴常任委員会は開催しません。

※令和3年度予算は予算審査特別委員会を設置し審査を行います。審査の日程については、予算審査特別委員会設置後、3月15日(月)・16日(火)・17日(水)・18日(木)で調整を行う予定です。

第100回 南あわじ市議会臨時会日程(2月)

Table with 3 columns: 日時, 会議内容(予定). Lists the agenda for the 100th temporary council meeting in February.

第101回 南あわじ市議会定例会日程(3月)

Table with 3 columns: 会議日, 会議内容(予定). Lists the agenda for the 101st regular council meeting in March.

11月臨時会で議会運営委員会、議会広報広聴常任委員会の令和元年11月から1年間の活動報告が行われました。その結果を報告します。

南あわじ市議会基本条例を検証 議会運営委員会の1年間の調査報告

(1)議会運営

- ①議会活動のあり方等について課題点を取り上げ、円滑で効率的な運営を図るため調査研究を行った。
- ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委員会では説明員入替制を導入し、3密を避ける対策を講じた。
- ③ペーパーレス会議の導入に向けて、タブレット等が活用できる環境を整えるため、会議無線LAN環境を強化した。

(2)議会の会議規則、委員会に関する条例等

- ①平成24年9月制定の議会基本条例について、目的を達成されているかどうかを見直し、今後の議会改革へと発展させるため、議会基本条例の検証に取り組み、結果を公表した。

(3)議長の諮問に関する事項

- ①議会業務継続計画（BCP）の一部改正を行った。
- ②議会防災研修会を開催し、「南海トラフ地震・津波と市の災害対策」をテーマに研修を行った。（1月31日）
- ③議会災害対策支援本部を設置し、3度にわたり新型コロナウイルス感染症に関する要望書を市対策本部長（南あわじ市長）へ提出した。



▲要望書を提出

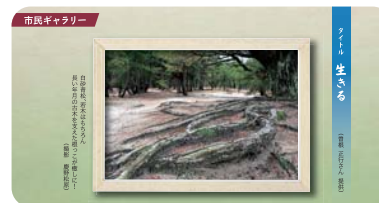
「議会を身近にする」ために 議会広報広聴常任委員会の1年間の調査報告

(1)広報活動

①議会広報誌の発行

「議会だより」を年4回発行し、これまでの研修で学んだことを活かし編集した。

- ・誰もが読みやすいデザインとなるよう、特集ページを工夫。
- ・表紙については、観光名所・伝統文化を掲載し、南あわじ市の魅力を伝えた。
- ・一般質問、各議員の質問項目を一覧表にまとめた。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市民インタビューを自粛したが、新たに市民と交流する場として写真の募集を開始し、応募のあった写真を「市民ギャラリー」として掲載した。



▲市民ギャラリー



▲市民ギャラリー

②定例会の傍聴アナウンス

防災行政無線を活用し傍聴の呼びかけを行った。（12月、3月定例会は実施。6月定例会以降は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、傍聴アナウンスを中止した）

③YouTubeでの動画配信

- ・YouTubeでの一般質問の動画配信については、年間で延べ2,298回の再生回数を記録した。
- ・「議会をより身近にする、見える議会活動」の一環として、令和2年1月よりYouTubeでの本会議・委員会のライブ配信を開始し、延べ2,231回の再生回数を記録した。



▲YouTubeライブ配信

総務文教常任委員会

（10月12日）

▼脱ハンコ

問 「脱ハンコ」について当市の考え方は。

答 「脱ハンコ」への取組として、庁内での手続とその規定も含めて調査をしている。窓口で印鑑を忘れ取りに帰ることがなくなるのではないかと。まずは調査をしているところ。

法律の定めなど、法務省管轄の戸籍の一部等はどうしても必要なものもある。国の動きに本市も合わせていく必要があると考える。



▲押印の様子

問 ▼辰美中学校跡地地利活用
辰美中学校の跡地地利活用

用についてプロポーザルの結果は。

答 平成28年から4回の公募を行い、計7社からの応募があった。今年度は1社から応募があったが選定に至っていない。

建物が老朽化し、運動場も広いので活用が限定される。今後、跡地利用という観点からの募集を検討する必要性はあると認識している。

▼遊休財産

問 旧庁舎や廃校などの遊休財産の利用についての考え方は。

答 地域づくり協議会との話し合いを続け、地元の要望を踏まえた利活用を進める。

▼防災訓練

問 コロナ禍の中で防災訓練の体制についての考え方は。

答 会場入り口で検温と手指の消毒、来場者の名簿と緊急連絡先を書いていた。メイン会場では時間を

10月に行われた各委員会の概要を報告します。
市ホームページに会議録を順次掲載していますので、ご覧ください。



▲令和2年度防災訓練の様子

産業厚生常任委員会

（10月23日）

▼下水放流施設建設工事

問 下請負契約や物品等の工事材料納入契約は極力南あわじ市内の業者から選定するとなっているが、市内業者が入ったかどうかをチェックできるのか。

答 届出書類で確認するが、努力義務であるので100%市内業者になるかどうかは分からない。

▼火葬場建設工事

問 火葬場の炉の工事業者は決定しているが、建屋や周辺の環境整備の工事については市内業者を選定していくべきではないか。

答 建屋を含め、周辺整備工事等については市内業者を選定していく。

▼町ぐるみ健診

問 コロナ対策も含めどういうような体制で実施するのか。

答 発熱のある方や体調が悪い方には受診を控えていただくようにする。30分置きに人数を割り当てて人数を減らし、待合席をいつも以上に間隔をあけるなど、3密を防ぐ工夫をして実施する。

▼鳥獣被害対策

問 抜本的に駆除する対策はないのか。

答 これをやれば被害が全くなくなるというのは難しい。集落全体で、おりを置くのに効果的な場所を考えたり、柵のメンテナンスをするなど、そういった体制づくりが大切である。



▲捕獲されたイノシシ



稲藁で作った11mの大蛇を担いで練り歩く伝統行事で毎年1月11日に地域住民と倭文小児童によって実施。
(撮影 倭文安住寺集落センター周辺 ※今年の写真ではありません)



引き続き 写真募集!!

風景・イベント等の写真を
お待ちしております



これまで以上に親しまれる「議会だより」の取り組みとして、皆様から投稿していただく写真(風景、イベント等)・コメントを掲載するコーナーを設けます。

▶▶▶ **応募条件** 応募者本人が南あわじ市内で撮影した写真のうち、他のコンテスト等への応募をしていないもの。

▶▶▶ **応募方法** 住所、氏名、電話番号、タイトル、撮影場所、コメント(50字以内)を、明記の上、右記の方法でお送りください。

●Eメールの場合 gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp
●郵送の場合 〒656-0492 南あわじ市市善光寺 22 番地1
南あわじ市議会事務局 宛

▶▶▶ **注意事項**

- ・掲載については、議会広報広聴常任委員会で審査決定し、採用された方には連絡を差し上げます。
- ・ご応募いただいた写真・データ等は返却しません。
- ・肖像権、登録商標の無断転用、著作権の侵害等に関するトラブルには、当市議会は一切の責任を負いません。
- ・掲載作品の著作権は作者に帰属しますが、当市議会がHP等で使用することができるものとします。

お知らせ 市民インタビューですが、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止させていただいています。

編集後記

コロナ禍の中での年明けとなりました。

2021年初の議会だよりは、昨年12月定例会の議会内容の掲載と役員改選により誕生した新しい正副議長と各常任委員会構成を紹介しています。

新型コロナウイルス感染症による影響は、多方面にわたり、あらゆる市民生活におよび、行政の役割が注視されています。

議会での議論が市民の皆様にはわかりやすく届けられるよう、広報委員一同、力を合わせて広報紙づくりに努めてまいります。よろしくお願いたします。

(北条)

議会広報広聴常任委員会
北条志津子 久米 啓右
太田 康文 谷口 博文
吉田 良子 原口 育大